

岩手大学農学部植物生命科学科助教募集要項

本学科では、下記募集要項により助教1名を広く公募します。

選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせします。

1. 職種・人員：助教1名

2. 所属・担当学部

農学部植物生命科学科に所属し、作物学分野もしくは植物育種学分野を担当します。
大学院は岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻に所属します。

3. 担当教育研究専門分野：作物学または植物育種学

主要担当科目

学部*：農学概論（分担）、植物生命科学演習Ⅰ（分担）、植物生命科学演習Ⅱ（分担）

食用作物学Ⅱ、作物学実験もしくは植物育種学Ⅱ、植物育種学実験

大学院*：作物栽培特論もしくは植物分子遺伝学特論

その他：全学共通教育科目・学部専門基礎科目の一部（分担）

*なお、助教が担当する授業科目（実験を除く）は、学部、大学院の授業科目（分担を除く）のうち1科目のみです。

4. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する方。
- (2) 当該専門分野において助教にふさわしい研究業績を有し、今後当該分野において新規性・独創性を持つ研究を展開できること。なお、経済的に有用な植物を中心に分子レベルから圃場レベルまでの研究を展開できることが望ましい。
- (3) 学部生及び大学院生に対する教育研究指導を熱心に行えること。
- (4) 学部、学科および大学院、専攻の運営に積極的に参加できること。

5. 任用予定日：平成29年10月1日以降のできるだけ早い時期

6. 提出書類

- (1) 履歴書1通（写真貼付、署名、捺印、メールアドレス。なお履歴書は市販の履歴書可）
- (2) 研究業績目録1部（別紙作成要領を参照）
- (3) 主要論文別刷5編以内（コピー可）
- (4) これまでの研究概要および着任後の研究に対する抱負（2,000字程度）

- (5) これまでの教育経験および着任後の教育に対する抱負 (2,000字程度)
- (6) 照会可能な方2名の氏名と連絡先 (住所, 電話, メールアドレス)
- (7) (1) ~ (6) をそれぞれ別のPDFファイルで保存した記録媒体 (CD, DVD, USB メモリ等)

7. 公募締切日:平成29年7月21日 (金) (必着)

8. 応募書類提出先および問い合わせ先

提出先:〒020-8550 盛岡市上田3-18-8

岩手大学農学部植物生命科学科 佐原 健

(応募封筒等には「植物生命科学科助教応募書類在中」と朱書きして,簡易書留またはレターパックプラスで郵送あるいは持参して下さい。なお,応募書類は返却致しません。選考過程に関する問い合わせにはお答えできません。)

問い合わせ先:電話:019-621-6147, e-mail: sahara@iwate-u.ac.jp

9. 書類選考の後,必要に応じて面接等を実施して最終選考を行います(この場合の交通費等経費は自己負担となります)。

10. その他

(1) 岩手大学農学部のホームページURLは下記の通りです。

<http://www.agr.iwate-u.ac.jp/>

(2) 岩手大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には,女性を優先的に採用します。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら (www.iwate-u.ac.jp/gender/) をご覧ください。

「研究業績目録」作成要領

研究業績は、A4判の用紙にA.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a) 学術雑誌*¹、(b)紀要*²、(c)プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁶、J. 受賞歴 (学会賞など)、K. 外部資金獲得状況 (科研費など) の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り返してください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度 (日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度) にしてください。

- *1 : 学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2 : 試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3 : 商業雑誌、資料等に記載する。
- *4 : 調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等に記載する。
- *5 : 最近5ヵ年について記載する。(教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要)
- *6 : 著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- *7 : 英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
 1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- *8 : 学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *9 : 論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド (太字) とする。
- *10 : Journal は略記する。
- *11 : 発行は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agriculture in Japan, "Agricultural Sciences"(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press,London, pp.20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 №3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J.Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 №125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.

J. 受賞歴 (学会賞など)

1. 岩手一郎 (2016)

第15回日本農学進歩賞「受賞タイトル等」

K. 外部資金獲得状況 (科研費など)

1. 岩手一郎 (2012~2015年度)

科学研究費助成事業 (特別研究員奨励費)「採択研究題目等」